

## 第2 実践事例

### 事例1 「原因と結果など情報と情報との関係について理解すること」をねらった事例

○学年 第6学年

○主な領域 [知識及び技能] (2) 情報の扱い方に関する事項

○事例のポイント

- ①情報について、第1時と第7時で扱うことで、単元の学びを通して「知識・技能」が定着したことを児童自身がより実感できるようにする。
- ②単元の導入で、ねらいとする「知識・技能」の定着度を児童自らが確認できるようにする。
- ③単元の終末で、導入と同じテーマの意見を述べることで、単元での学びが価値付けられるようにする。
- ④ICT端末の動画機能を活用し、自分の意見の述べ方の変容を捉えられるようにする。

1 単元名・教材名 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発信しよう  
「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」「主張と事例」

#### 2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童はこれまでの説明的文章の学習等を通して、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるようになってきた。今後は、原因と結果など情報と情報との関係について理解し、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえることができるようになることを期待している。

本単元は「笑うから楽しい」と「時計の時間と心の時間」の二教材で構成された説明的な文章の単元である。情報と情報の関係を扱う小教材「主張と事例」が置かれ、単元を通して主張と事例の関係を捉える力を養うことができるようになっている。

指導に当たっては、小学校学習指導要領（平成29年3月）の第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の指導事項「ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。」を重点的に指導するものである。また、単元を通して主張と事例の関係を捉えながら読むことで、情報と情報との関係について理解できるようにする。まず、単元の導入において、「主張と事例」の小教材を扱い、「朝の時間を有効に活用した方がよいか。夜の時間を有効に活用した方がよいか。」について話し合う。自分の意見の述べ方をICT端末を活用して振り返ることで、本単元でねらいとする知識・技能の定着度を可視化し、自ら確認できるようにする。次に、「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」を読み、主張とそれを支える事例との関係に着目して筆者の意図を捉える。その際、筆者が自分の主張を述べるために、どのように事例を活用しているか、筆者の論の進め方のよさに気付けるようにする。終末には、「主張と事例」をもう一度扱い、導入と同じテーマの意見を話し合うことで、単元での学びが価値付けられるようにする。

#### 3 単元の目標

- (1) 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。〈知識及び技能〉(2)ア
- (2) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)ア
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

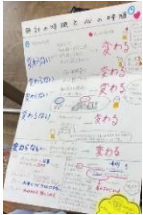
#### 4 本単元における言語活動

筆者の主張に対する自分の考えを発信し合う。（関連：言語活動例ア）

#### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)	①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (C(1)ア)	①進んで、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを発表して感想等を伝え合おうとしている。

## 6 指導と評価の計画（全7時間扱い）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<p>○朝の時間を有効に活用した方がよいか、夜の時間を有効に活用した方がよいかについて話し合う。</p> <p>○説明的な文章を読み、筆者の主張を支える事例との関係について学び、自分の主張の述べ方に生かすという単元の見通しをもつ。</p>	<p>事例のポイント① 情報について、第1時と第7時で扱うことで、単元の学びを通して知識・技能が定着したことを児童自身がより実感できるようにする。</p> <p>○要旨の捉え方 ○情報と情報との関係</p> <p>事例のポイント② 単元の導入で、ねらいとする知識・技能の自分の定着度を確認できるようにする。</p>	<p>○ICT端末を活用し、自分の主張を保存しておくことで、主張と事例の関係を踏まえて話ができるようになる。</p> <p>○単元を通して、自分の主張にとってどのような事例を用いればよいか考えていくという見通しがもてるようにする。</p>
2	<p>○「笑うから楽しい」を読み、主張とそれを支える事例の効果を考える。</p>	<p>○事実と感想、意見などとの関係の読み取り方</p>	<p>○本文の事例がない場合、読み手の理解がどのように変わるかを交流することで、事例の効果的な出し方について理解することができるようにする。</p>
3 ・ 4 ・ 5	<p>○「時計の時間と心の時間」を読み、主張とそれを支える事例との関係に着目して筆者の意図を捉える。</p> 	<p>○事実と感想、意見などとの関係の読み取り方 ○情報と情報との関係 ・考えとそれを支える理由や事例</p>	<p>[思考・判断・表現①] 課題解決をしている様子・ノート等 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に読んでいるかを確認する。</p> <p>[知識・技能①] 課題解決をしている様子・ノート等 ・主張とそれを支える事例との関係に着目して読んでいるかを確認する。</p>
6	<p>○二つの説明文から主張とそれを支える事例の効果をまとめ、互いに感想を伝え合う。</p> <p>○第1時で考えた自分の主張にとってどのような事例を用いればよいか、いくつか選ぶようにする。</p>	<p>○事実と感想、意見などとの関係の読み取り方 ○情報と情報との関係 ・原因と結果などの関係</p>	<p>[思考・判断・表現①] 課題解決をしている様子・ノート等 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に読み自分の考えを述べているかを確認する。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度①] 課題解決をしている様子・ノート等 ・粘り強く事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に読もうとしているかを確認する。</p>
7	<p>○「主張と事例」を読み、主張と事例の関係の捉え方について理解を深める。</p> <p>○単元の学びを振り返り、今後への生かし方を考える。</p>	<p>○情報と情報との関係 ・考えとそれを支える理由や事例 ・原因と結果などの関係</p> <p>事例のポイント④ ICT端末の動画機能を活用し、自分の意見の述べ方の変容を捉えられるようにする。</p>	<p>[知識・技能①] 発表（映像記録）ノート ・自分の意見を述べた内容や自分の意見への振り返りが書いているかを確認する。</p> <p>事例のポイント③ 単元の終末で、導入と同じテーマの意見を述べることで、単元での学びが価値付けられるようにする。</p>

## 7 本時の学習指導（本時7/7時）

### (1) 目標


- 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 〈知識及び技能〉(2)ア

(2) 評価規準

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。

【知識・技能】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
<p>1 第1時の学習内容を振り返り、本時の課題を確認する。</p>	<p>事例のポイント③ 単元の終末で、導入と同じテーマの意見を述べることで、単元での学びが価値付けられるようにする。</p>	<p>○ICT端末に保存しておいた自分の主張の述べ方を振り返ることで、より説得力をもたせた主張ができるようになりたいという意欲を高めるようにする。</p>	5
<p>より自分の主張に説得力をもたせるにはどうすればよいだろう。</p>			
<p>2 「主張と事例」を読み、単元を通して学んできたことを振り返る。</p>	<p>○情報と情報との関係 ・考えとそれを支える理由や事例 ・原因と結果などの関係</p>	<p>○学びの履歴を活用して振り返ることで、二つの説明文の学習を通して、主張により説得力をもたせる事例の使い方について確認できるようにする。</p>	10
<p>3 「朝の時間を有効に活用した方がよいか、夜の時間を有効に活用した方がよいか」について主張と事例の関係に気をつけて、自分の意見を述べる。</p>	<p>○情報と情報との関係</p> 	<p>○第1時の自分の主張の述べ方と比べることで、単元の学びを通して、自分の主張を支えるなどより効果的な事例が結びつけられるようになったことを実感できるようにする。</p>	15
<p>〈期待される児童の反応〉 私は朝の時間を有効に活用した方がよいと思います。理由は、朝、早起きをして活動した方が日中の何倍も効率よく活動できるからです。 例えば、小学生の起床時間と学力の相関関係を示したデータ(20××年)を見ると、早起きをした子の方が2.6倍学力が高いことが見てとれます。この要因として、早起きをすることで脳が活性化され、午前中に授業時間が多い小学生にとって、脳が目覚めた状態で授業を受けることが学力向上につながっていると考えられるそうです。 このことから、早起きをして、余裕をもってゆっくりと体を起こしていくことが大切だと考えられます。</p>		<p>事例のポイント④ ICT端末の動画機能を活用し、自分の意見の述べ方の変容を捉えられるようにする。</p> <p>編 P36 指導計画作成の留意事項(9)</p> <p>評価規準 【知識・技能①】 発表(映像記録)・ノート ・自分の意見を述べた内容や自分の意見への振り返りが書いている児童をBとする。 〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉 ・対話をし、主張に対する個人の体験や経験を引き出すことで事例と結び付けながら述べられるようにする。</p>	
<p>4 単元のまとめを行う。</p>	<p>○事例の効果的な使い方</p>	<p>○友達とともに自身の意見について振り返ることで、事例が効果的に使われていることをより実感できるようにする。</p>	8
<p>主張と事例を効果的につなげると、より説得力が増す。</p>			
<p>5 振り返りをする。</p> <p>〈期待される児童の反応〉 単元の最初に述べた自分の意見と比べてみると、主張と事例をつなげられるようになり、より説得力のある意見を述べられるようになりました。</p>	<p>○情報と情報との関係</p>	<p>○単元の学びを振り返り、主張と事例の関係について理解することで、自分自身も説得力のある意見の述べ方ができるようになったことを実感できるようにする。</p>	7